

平成 28 年度 ASAGOING ゼミ U-18 の活動概要について

1 受講生について

15 人（高校生 10 人、中学生 5 人）

※学校内訳 生野高等学校 9 人、和田山高等学校 1 人

生野中学校 1 人、梁瀬中学校 2 人、朝来中学校 1 人、私立 1 人

2 活動内容等について

日程	内容等
8 月 17 日～18 日	キックオフ夏合宿 お互いに議論を深めあえる関係性・信頼関係の構築
9 月 22 日（木・祝） 9:40～16:30	一日ゼミ ① 黒川集落、農家民宿まるつねを題材（現代文・社会・理科）にした地域学習及び教科学習 ② 黒川区長及び農家民宿まるつね黒田夫妻との対話による地域学習など
10 月 29 日（土） 19:30～21:30	ろじかるゼミ 「分ける」をテーマに開催 MECE（ミーシー）モレなくダブリなく分ける練習
11 月 20 日（土・祝） 9:20～16:20	一日ゼミ ① 竹田地域、旧木村酒造場 EN などを題材（現代文・英語）にした地域学習及び教科学習 ② 地元区長や竹田とらふす会などの地域の方との対話による地域学習など
12 月 17 日（土） 19:30～21:30	ろじかるゼミ 「決める」をテーマに開催 ロジックツリーを学び、様々な要素を論理的に考え決定する練習
12 月 25 日（日）	冬合宿に向けた打合せ 黒川班、竹田班に分かれて自分たちが地域でしたい実践活動の概要案を考え、冬合宿でのフィールドワークの内容を考える。
1 月 5 日～6 日	冬合宿 黒川班、竹田班に分かれてフィールドワーク及び班での話し合いを重ねながら、自分たちが地域でしたい実践活動の企画案を考える。

1月～3月	<p>黒川班及び竹田班に分かれて実践活動</p> <p>●黒川班 過疎化が進む黒川地域への来訪者を増やし、活気につながるために、黒川地域の資源（黒川温泉、NPO 法人日本ハンザキ研究所、農家民宿まるつね、銀山湖）の動画を作成し、YouTube で発信する。</p> <p>●竹田班 竹田のまちなかに人の流れをつくる課題があること、さらには、冬季は竹田城跡が閉山していることを踏まえ、冬でも楽しめる竹田のまちなかの魅力を発信するために、1月22日（日）及び2月5日（日）の2日間に、竹田に来訪される観光客の方へ、竹田のまちなかの観光ポイントを巡るスタンプラリーを依頼し、竹田のまちなかの魅力を伝える。</p>
3月12日（日）	活動のふりかえり、発表準備
3月19日（日）	活動の発表

3 一日ゼミの基本的な流れ

地域を題材にした学習用動画及び教科課題を通して地域のことを事前に学習し、一日ゼミ当日を迎える。一日ゼミでは、事前学習したことを踏まえながら、教科課題を通してさらに基本的なことを学び、地域の方との対話の準備をする。

一日ゼミの後段では、学習用動画及び地域のことを題材にした教科学習を通して感じたこと（疑問や意見など）を地域の方との対話で、地域の理解を深める。地域の方との対話では、地域への理解を深めるだけでなく、地域で活躍する人との出会いと対話は、多様な生き方考え方に触れ、これからの将来を考える受講生にとっては将来のキャリア構築のヒントにつなげる。



地域の方との対話の様子



竹田城跡について調べたことを英語で会話形式で説明する様子

4 受講生の声

- 普段教わらない考え方を学ぶことができるのが楽しく、勉強の仕方も分かってきた。
- 普段話すことができない人との対話を通して、将来に自信が持てた。
- 今までは自信がなく自分の考えを伝えることがなかなかできなかったが、自分の意見を分かりやすく伝えることを意識するようになった。それだけでなく、自分の意見をお互いに言いやすい関係を作ることも大切であることが分かった。
- 考えることの楽しさ、考えて実践したことで得られる喜び、チームであることの楽しさと楽しさなどが分かった。 等々

5 反省点と来年度に向けて

- ① 1年目の試行的な取組みといえども受講生が15名で少なく、市全域に広めていく工夫が必要。
⇒ 平成29年度から高等学校の総合的な学習の時間などで教材を活用していく。
- ② 地域での実践活動準備等を通して地域のことを知り、愛着などが育まれてくるものの、一日ゼミ等の中で地域の方との対話の時間や地域のことを知る時間が少なく、地域のことをしっかり理解しないまま実践活動になっている。
⇒ 地域のことを知り、地域の方との関係性を構築することが、受講生にとっても主体的な取組みにつながることから、平成29年度から地域の方との対話の時間を増やす工夫をしていく。
- ③ 学校やクラブ活動等をしながら活動日を確保することが困難。特に、受験などを控えた受講生が納得いくまで活動がしづらい状況になっている。
⇒ 平成29年度から従来の一日ゼミに該当する活動を、前期と後期に分けて行い、受験生でも参加しやすいようにする。
- ④ ろじかるゼミで学ぶことは、普段学ぶことがないこともあり、考え方を学び、楽しいと感じる受講生が多く、保護者もろじかるゼミに対する期待の声が多い。そのようなことから、ろじかるゼミの学びの時間の追加を希望する受講生がいる。
⇒ ろじかるゼミの開催を月1回ペースに増やすとともに、平成29年度の前期は、開催曜日を木・金・土曜日に種類を増やし試行し、その結果に応じて後期の在り方を検討する。